

中学校区におけるめざす子ども像 人と人との交わり、つながりの中で、【人間性豊かな心】【たくましく生きる力】を持つ子。 ～明るく元気・自ら学ぶ・仲良く助け合う～	
令和6年度 重点目標 ○家庭地域社会と共に、二十一世紀を豊かにたくましく生きる子どもを育てる。 ・主体的・対話的・協働的な学びを通して「総合的な学力」を育む学校。 ・教職員としての“誇り”と“自覚”を備えた信頼される教員 ・学びの交わり（人・学習材）を計画して、家庭地域社会と共に「未来を切り拓く力」を育む。	
「確かな学び」の現状 ・基礎的な教科学力について着実な成果が見え始めている。一方で、学んだ知識理解や思考判断表現の力を活用したり、主体的に社会や生活に生かしたり、お互いの考えをわかりやすく伝え合ったり読書する力等に一部課題がある。 ・基礎的な学習について、さらに見通しを持った自律学習が進む取り組みを工夫していくとともに、基礎的な学習の力を生かしてさらに伸長が期待できる「総合的な学力」育成の場として、アウトプット型の地域協働型教育を工夫する。	「豊かな心・健やかな体」の現状 ・協力的な地域性を生かした地域協働型教育実践に、継続・安定して取り組んでいる背景もあり、学びに向かう力・人間性（非認知能力）が安定している。一方で、あいさつや運動習慣・ゲームやスマホ等メディアとのかかわりについて課題も考えられ、引き続き家庭・地域・学校（3つの「I」）協力のもと、粘り強く取り組んでいきたい。 ・仲間づくりや体力向上の体づくりを一部で取り組み、成果があった。さらに全校での体力向上の取り組みを計画的に取り組む。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	進捗確認 (年度末)	達成状況 (年度末)					
									自己評価		学校関係者評価			
確かな学び	授業改善	主体的・対話的・協働的な学びを通して「総合的な学力」を育む	「主体的な学び」をテーマに授業研究に取り組み、子ども一人ひとりに応じた課題設定の工夫と、学びに向かう力・人間性の育成をめざす。	「授業は分かりやすいですかも」で肯定評価90%以上	学校教育アンケート	年度末			○	「主体的な学び」をテーマにした授業研究やタブレット活用推進授業に取り組み、それぞれ学校教育アンケートで肯定評価94%、94%であった。	○	課題設定や非認知能力の育成をめざし、各教員の主体的な研究推進に取り組み一定の成果が表れている。今後さらに、一体的で計画的な取り組み、「学びのコンパス」等更なる実践研究へ着実なアップデートを図りたい。	○	新しい機軸「学びのコンパス」を知りました。次世代の子ども育成に向けた授業をめざしてくださることは意義深いです。ICTのプラス面と注意点の教育も取り入れながら、引き続き教育活動を進めていただきたいと思います。
			子ども1人1台ICTタブレット活用推進授業に取り組み、教育効果の最大化をめざす。	「ICTを活用した学力向上の取り組み」で肯定評価80%以上	学校教育アンケート	年度末			○		○			
		地域協働型実践をはじめとしたカリキュラムマネジメントで「総合的な学力」を育む	地域協働カリキュラムをより取り組みやすく、持続可能なカリキュラムに整理して、継続発展する。	学年部テーマによる、生活科や総合的な学習の時間等の実践	まとめリーフレット	年度末			○	総合的な学習の時間や生活科を中心に、地域協働カリキュラムの持続可能なアップデートを推進して、実践研究や活動の様子を研修冊子・リーフレットなどにまとめることができた。	○	府外や校区内で、新たにダイナミックな交流を取り入れた学年部が見られたことは大きな成果であり、今後さらに計画的・実効的で持続可能なカリキュラムマネジメントを進め、学校文化として根付かせることができるよう、着実な継続と整理や広がりを進めていきたい。	◎	地域協働の取り組みを進めてくださってありがとうございます。1年間の活動のまとめは、学校の中の様子や教育活動のねらいや意義がわかりやすく感じました。地域でも「子どもは地域の宝」と感じています。今日的課題である、防災の取り組みをはじめとして、引き続きよりよい地域協働を進めていただきたいと思います。
			教育実践を研修冊子やリーフレットなどにまとめて成果物として残し、今年度の成果と課題の整理に生かすとともに、次年度の計画に役立てる。	研修冊子・リーフレットなど研究実践記録の作成	研究実践記録	年度末			○		○			
豊かな心 健やかな体	豊かな心の育成	「そろえる～すてきなみいけ～」を重点指導事項として、人間関係力を育成する。	きまり・ルールを様々な角度から検証し随時アップデートするとともに、チャイムでの切り替えや帽子名札の着用など「学校のきまり・ルールを守る」ことに、職員が同じように揃って指導する。	「学校のきまり・ルールを守っている。」で肯定評価90%以上	学校教育アンケート	年度末			○	きまりを随時検証しながら、毎月の全体集会を活用するなどして「そろえる～すてきなみいけ～」に取り組むことができた、掃除(97%)など非認知能力育成に向けた取り組みは継続できたが、アプリ活用(60%)には課題が残った。Iシステム活用等、情報共有を進め、SC・SSW連携を進めた。	○	「職員が同じようにそろって指導する」内容や方法について、きめ細かい報告・連絡・相談について更なる組織的な対応を継続していきたい。非認知能力育成について、子ども・保護者・PTA・地域・ボランティア協働した学校トイレ清掃実施は見られたが、アプリの定着には至らなかった。いじめや不登校・問題行動の未然防止・早期発見・早期対応について、SC・SSWをはじめ各機関との協働を進めていきたい。	○	ICTやDXや少子化傾向・アフターコロナ、社会全体の仕組みも大きく変化している時代です。地域でも常に新しい取り組みを意識しています。転勤などいろいろな先生方の入れ替わりがあり、教育活動の引継ぎや伝承ではご苦労がある場合も考えられますが、家庭地域も一緒になって、前向きな新陳代謝として協力していきたいと考えています。いろいろなお子様がおられて、人間関係が生まれます。各ケースを把握して、応じた丁寧な対応は安心の源です。地域でできることがあれば協力を進めていただきたいと思います。
			「御池の子ども」に基づいた非認知能力育成プログラムとして、自問清掃・自問教育「3イケ玉」アプリを活用して、考える力・思いやり・ねばり強さの育成に取り組む。	みいけアプリ活用50%以上、「落ち着いて掃除に取り組んでいますか」で肯定評価85%以上	みいけアプリの活用状況、学校教育アンケート	年度末			△		△			
			いじめや不登校・問題行動の未然防止・早期発見・早期対応について、学校・学年チームの視点で積極的・組織的対応に取り組む。	校内研修体制や情報共有体制を整備計画して、いじめや問題行動を積極的に認知し、随時報告連絡相談と個別対応を行う。	いじめ調査アンケート	毎学期			○		○			
	健康体力	望ましい運動習慣・生活習慣づくりの実践力を育成する。	体育の授業の充実と、全校的な体育集会等を計画的・効果的に活用し、かけ足やなわ跳び等を行い、運動への意欲を高め、体力向上をめざす。	「運動することが好きだ」で肯定評価85%以上	学校教育アンケート	年度末			○	毎月の全校体育集会や、子ども・保護者PTAへのスマホ・タブレットメディアアンケートを実施した。それぞれ学校教育アンケートで肯定評価85%、50%(なかなかやめられない)であった。	○	全校体育集会の成果と課題を整理して、内容や方法や頻度などを精査し、限られた時間内での教育的効果の最大化をめざしたい。生活見直しプロジェクトは、学校アンケートでも課題となった読書との関連にも注視し、家庭とも連携して継続したい。	○	運動の意義を大切にした取り組み、スマホやタブレットの生活習慣との関連、読書活動の取り組みは、地域でできることがあれば協力を進めていきたいと思っています。
			各家庭の自分のメディアとの自律的な関わりや、睡眠を知ることを通して生活習慣を見直し、子どもが自らの生活・健康について考える力をご家庭とともに育成する。	「生活見直しプロジェクト3」で肯定評価80%以上	生活見直しプロジェクト取り組みやアンケート	年度末			△		△			
地域協働		保護者・地域住民の理解・協力を得て、「地域とともに子どもを育む御池台小学校」の地域協働教育を継続深化する。	本校の教育活動や案内・協力依頼等を、みいけだより、ホームページ、totoru、玄関等デジタルサイネージで、積極的に情報発信する。	学校HPやtotoruや玄関等デジタルサイネージにより、教育活動等をタイムリーに子ども・保護者・地域へ発信する。	ホームページ・totoru・玄関等デジタルサイネージ活用状況	年度末			○	教育活動や案内・協力依頼等を、「みいけだより(学校通信)」、ホームページ、totoru、玄関等デジタルサイネージ、リーフレットで情報発信することができた。	○	広がりを見せた地域協働の取り組みもあり、総合的な学力育成と関連させながら、持続可能なカリキュラムマネジメントを推進したい。そのために情報発信をすすめ、記録や評価を踏まえた情報の2次利用の整理や、教材となりうる情報発信を進めたい。	○	広がりを見せた取り組みもあり、感謝しています。地域協働の取り組みの情報発信は、子どもの反応もわかるので楽しみです。是非引き続き続けていただきたいと思います。
			各学年部で教科学習等と関連した授業計画を整理して、1年間の地域と連携した教育活動をまとめ、年度末に地域の方々と共に成果と課題を共有する。	「1年間の教育活動のまとめ」を作成する。	まとめリーフレット	年度末			○		◎			

校長より（年度末） 家庭地域社会と共に、地域協働型教育の継続や進化の兆しは見られた。より効果的なカリキュラムマネジメント、教育の最大化をめざすICT活用や更なる仲間づくりや体力向上の取り組み、読書活動には課題を残したので、継続して組織的に取り組みを進めていきたい。	学校関係者評価から（年度末） 今日的課題である地域防災も継続していただき、地域が子どもとともに活動するきっかけ作りにもなっている。成果と課題を整理して、人との関わりや経験を大切にした着実な教育を続けてほしい。
---	---